

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

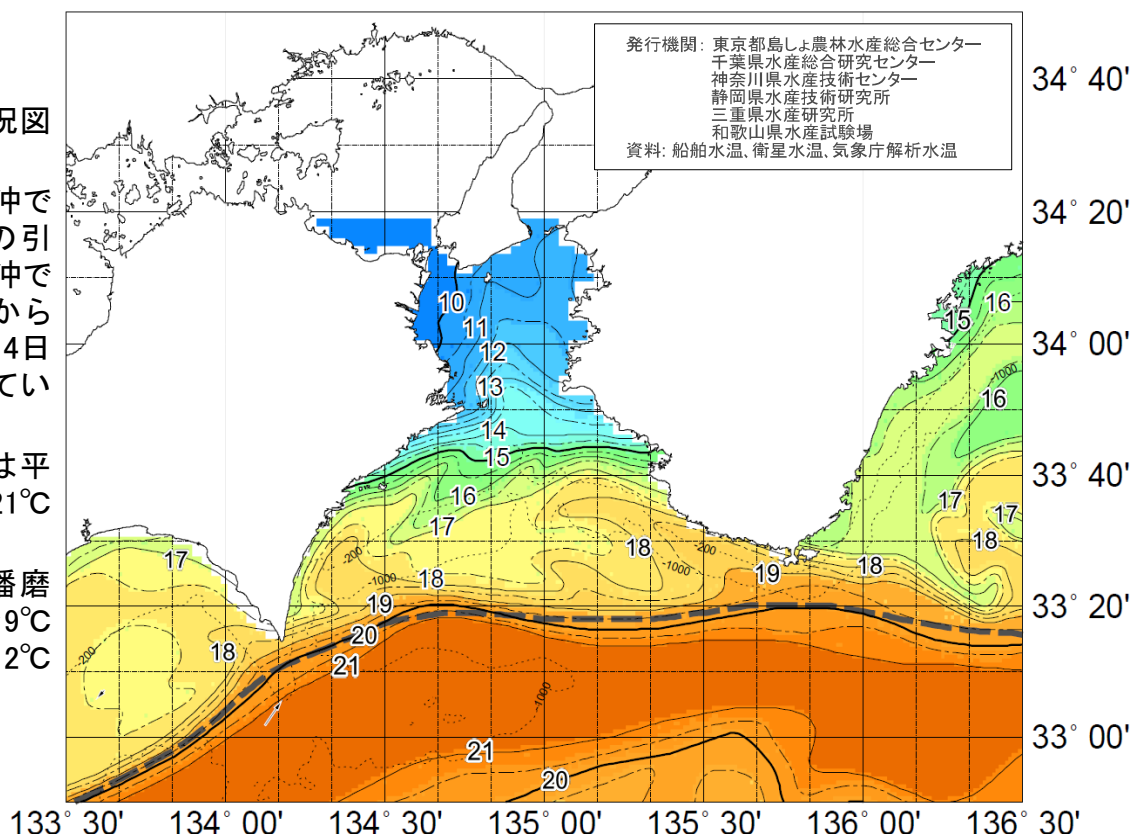
1. 周辺海域の水温

右に2月14日時点の海況図を示した。

黒潮の位置は、室戸岬沖では接岸傾向であるものの引き続き「やや離岸」、潮岬沖では先週の「やや離岸」から徐々に岸寄りに移動し、14日時点では「接岸」となっている。

黒潮本流の表面水温は平年よりやや高い20℃～21℃となっている。

徳島沿岸の水温は、播磨灘で9℃台、紀伊水道で9℃～12℃台、海部沿岸で12℃～16℃台となっている。

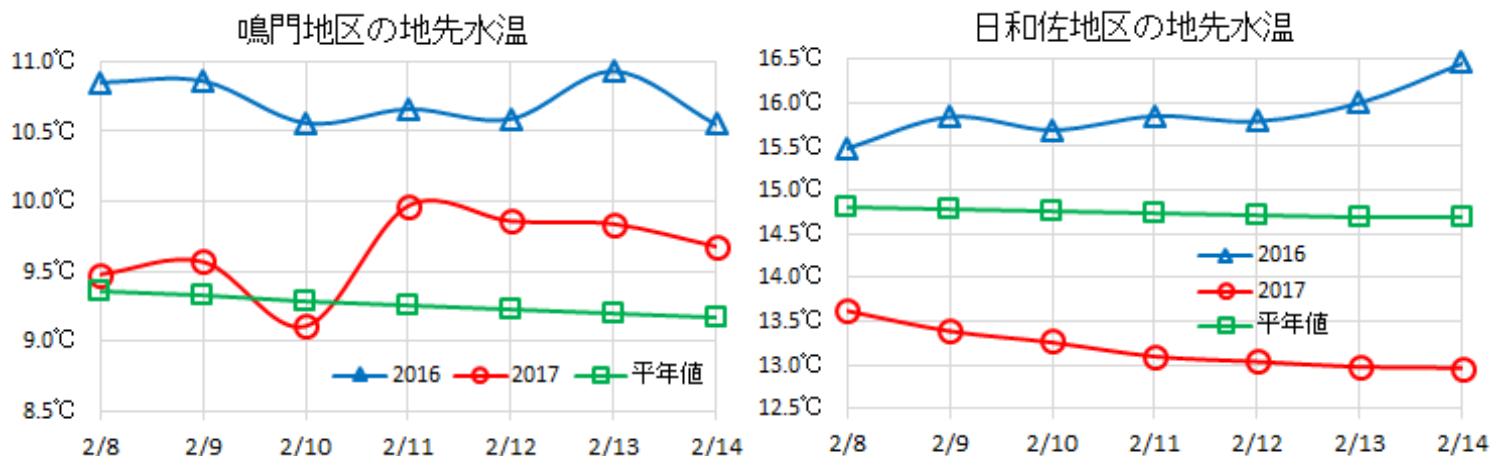


海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(2月8日～2月14日)

鳴門地区の地先水温は、期間前半「平年並み」の9.5℃～9.1℃で推移したのち、11日に10.0℃と「やや高め」にあがり、その後も「やや高め」の9.9℃～9.7℃で推移した。

日和佐地区の地先水温は、「やや低め」の13.6℃から「低め」の13.0℃の右肩下がり推移した。



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 鳴門地区：1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区：1982年～2015年の平滑平均値

3. 週間予報(2月15日～2月21日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖ともに「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「やや高め」～「平年並み」の9℃台、日和佐地区で「低め」の13℃前後で推移する見込み。

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

延縄、底びき網で漁獲が大きく減るなどし、全体の水揚げは減った。
 釣りとは延縄で前週好漁だったタチウオは大きく減り、釣りで0.2ト、延縄で0.4トが水揚げされた。
 小型定置網では、マアジが0.9ト、ボラが0.6ト、キチヌが0.4トと大きく増えた。
 底びき網では、シリヤケイカが前週から大きく減って11.0ト、えそ類、コウイカがそれぞれ前週並みの0.5ト、0.4ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

延縄の漁獲が大きく減ったが大型・小型定置網で増え、全体の水揚げはやや増えた。
 釣りでは、タチウオが前週並みの1.3ト水揚げされた。
 延縄では、サワラが減って0.2ト水揚げされた。
 建網では、ヒラメが前週並みの0.3ト水揚げされた。
 小型定置網では、カタクチイワシが大きく増えて3.1ト水揚げされた。
 大型定置網では、ブリがめじろ主体に大きく増えて3.7ト、豆あじ主体のマアジが減って1.1ト、いわし類が増えて0.4ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	釣り	4	タチウオ	243	61		↘↘
	延縄	16	タチウオ	358	22	特大主体	↘↘
		18	シマフグ	243	14		↘
	小型定置網	18	マアジ	930	52	小主体	↗↗
		7	ボラ	633	90	大主体	↗↗
		18	キチヌ	350	19		↗↗
	底びき網	40	シリヤケイカ	10,980	274		↘↘
		30	えそ類	535	18		→
		36	コウイカ	366	10	大主体	→
		18	マダイ	362	20		↗↗
海部沿岸	釣り	16	タチウオ	1,259	79		→
	延縄	9	サワラ	205	23		↘
	建網	45	ヒラメ	343	8	中主体	→
	小型定置網	31	カタクチイワシ	3,106	100		↗↗
	大型定置網	8	ブリ	3,680	460	めじろ主体	↗↗
			マアジ	1,127	141	小小主体	↘
		いわし類	447	56		↗↗	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘